

SALLCオープンセミナー2012のご案内

合同会社シンクロトロンアナリシスLLC(SALLC)は放射光を利便性よくご利用されることを目的に設立した放射光材料分析支援会社です。現在兵庫県立大学ニュースバル放射光施設の産業用分析ビームラインBL05の運用を委託され、より多くの方にご利用いただくために、大学への利用申請や料金納入代行を行うほか、測定・利用支援を行っており、中小企業や放射光分析の経験がない企業でも気軽にBL05を利用いただいています。

現在、BL05の利用時間も順調に増加しており、兵庫県立大学の産業界のためのトライアルユース制度による利用も進んでいます。さらに放射光材料分析研修も実施して好評を得て、放射光の有用性の周知とユーザー拡大に努めています。

今回、BL05の状況と最新のデータの報告に併せて地球環境・物質循環に関して谷川東子先生、次世代蓄電池開発に関して安部武志先生に特別講演をお願いしてオープンセミナーを企画しました。

放射光分析の可能性や最新の地球環境、次世代エネルギー開発に関する情報収集の場とし、新しいビジネスチャンスを見出せる有意義な会とする所存です。ご多忙とは存じますが、是非奮ってご参加頂けますようお願いいたします。

日時 平成24年3月9日(金) 13:30~16:40

会場 神戸市産業振興センター 901号室(9階)

兵庫県神戸市中央区東川崎町1丁目8-4

電話:078-360-3200 JR神戸駅より徒歩5分

<http://www.kobe-ipc.or.jp/access/>

セミナー・交流会 参加費無料

セミナープログラム

13:30~13:40 開会挨拶

SALLC代表社員 鶴井孝文

13:40~13:55 SALLC経緯報告

SALLCシニアアドバイザー 深田昇

13:55~14:15 ビームライン状況報告

SALLC 上村雅治・長谷川孝行

14:15~14:30 休憩

14:30~15:30 特別講演1

森林総合研究所関西支所

谷川東子主任研究員

「森林土壌におけるイオウ化合物の蓄積機構」

- イオウを多く貯める日本の土壌のナゾ -

15:30~15:40 休憩

15:40~16:40 特別講演2

京都大学大学院工学研究科

安部武志教授

「次世代蓄電池と放射光への期待」

交流会

17:00~18:30 10階レセプションルーム



谷川 東子 先生



安部 武志 先生

特別講演1 講師プロフィール

谷川 東子 先生

所属:独立行政法人森林総合研究所関西支所

森林環境研究グループ

1996年 森林総合研究所土壌化学研究室 研究員

2004年 森林総合研究所関西支所 主任研究員(現職)

2004年 名古屋大学大学院生命農学研究科にて博士(農学)所得。

2004年 日本土壌肥科学雑誌論文賞受賞。

専門分野:土壌化学、物質循環学、生物地球科学

特別講演2 講師プロフィール

安部 武志 先生

所属:京都大学大学院工学研究科 物質エネルギー化学専攻
1968年生。

1996年11月京都大学大学院工学研究科博士課程修了、
博士(工学)。1997年より京都大学助手。

助教授、准教授を経て、2009年4月より現職。

2002年電気化学会佐野賞受賞。

2009年炭素材料学会学術賞受賞。

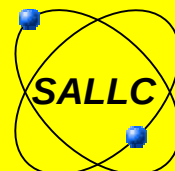
専門分野:電気化学・炭素材料化学。

問い合わせ先(申込書は裏面/次ページ)

合同会社シンクロトロンアナリシスLLC

〒675-0155 兵庫県加古郡播磨町新島 47-13 神戸工業試験場内 シンクロトロンアナリシスLLC

担当:長谷川 孝行 TEL:090-6966-2075 E-mail: sallc-th@lasti.u-hyogo.ac.jp



SALLCオープンセミナー2012

参加申込書

3月5日〆切

定員 100名

下記、申込みフォームにご記入の上、上記番号までFAXでお申し込み下さい。

記帳とネームプレート用に名刺を2枚お持ちくださるようお願い致します。

神戸市産業振興センター アクセス

- 1) JR「神戸」駅より徒歩約5分
地下から・・・中央改札を出て右。
エスカレーターでデュオこうべ地下街へ。
地下街をそのまま突き当たりまで進み左折。
一番奥の階段(地下2階A出入口)または
EVで地上へ(国道2号線沿いの通りに出る)。
国道に向き合い右手方向へ約100m進む。
- 2) 阪神電鉄「西元町」駅より徒歩約6分
- 3) 神戸高速鉄道「高速神戸」駅より徒歩約8分
- 4) 市営地下鉄海岸線「ハーバーランド」駅より徒歩約5分



申込みフォーム

会社名		
団体名		
個人名		
所在地	〒	
連絡担当者		
	TEL	
	FAX	
	E-mail address	
参加者氏名	所属・職名	交流会 参加者に○